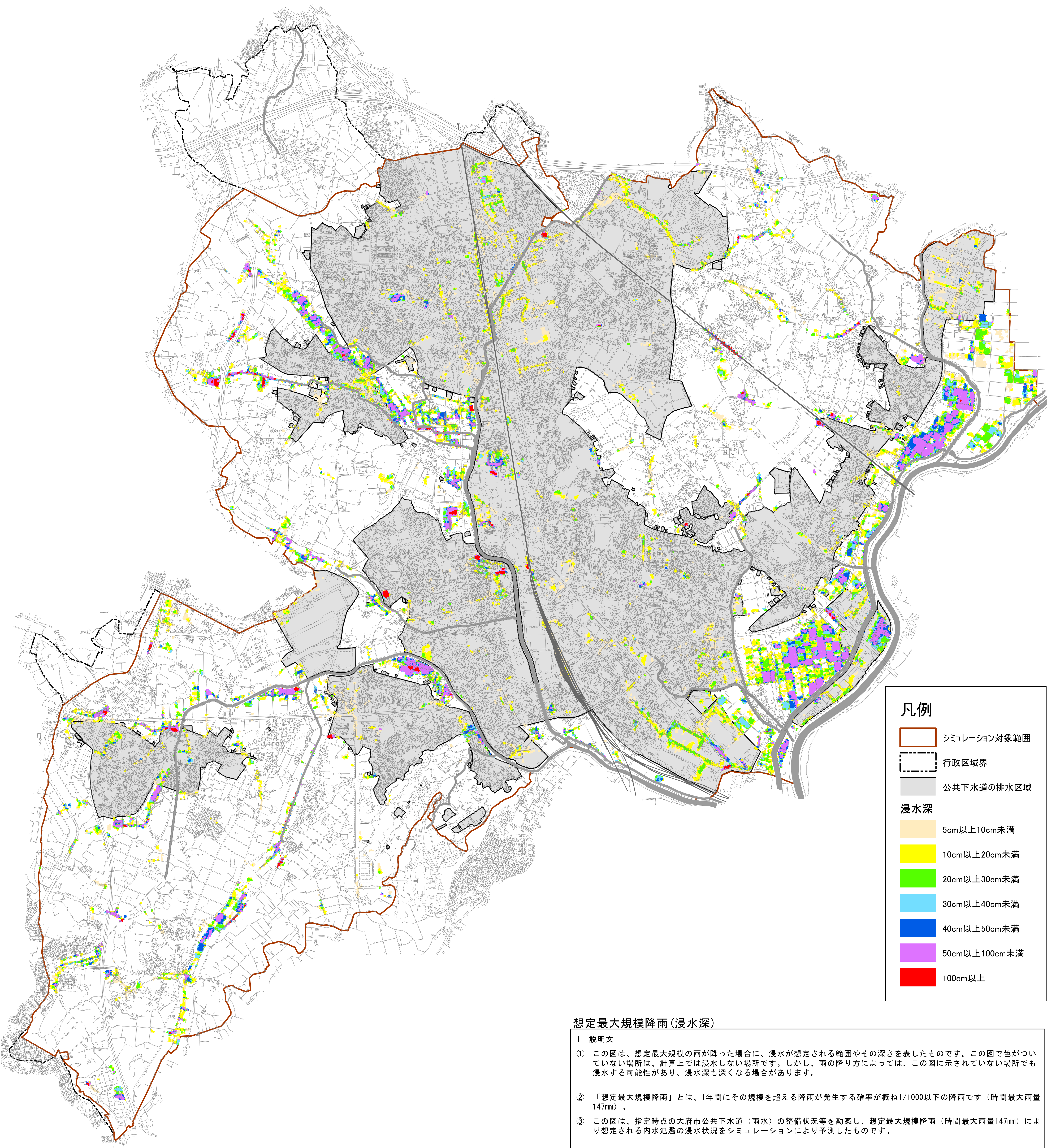
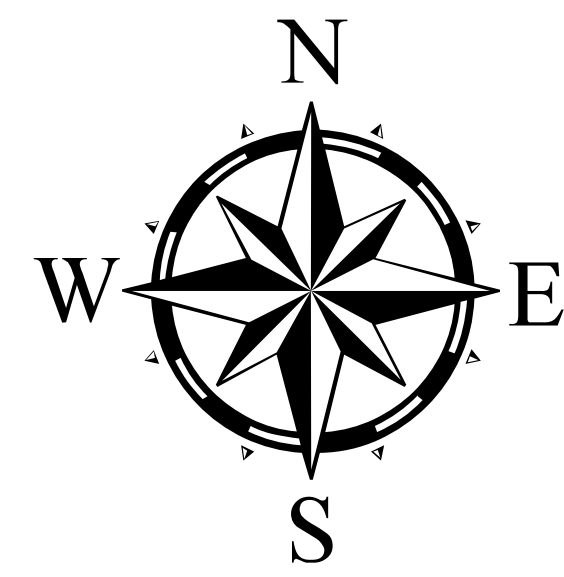


大府市雨水出水浸水想定区域図 (浸水深)



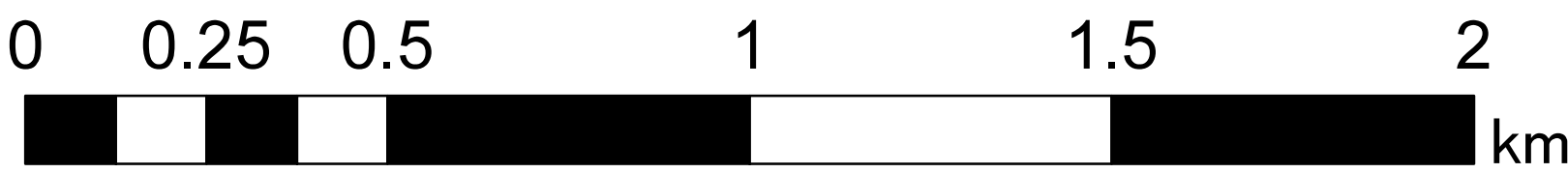
凡例

- シミュレーション対象範囲
- 行政区境界
- 公共下水道の排水区域
- 浸水深
 - 5cm以上10cm未満
 - 10cm以上20cm未満
 - 20cm以上30cm未満
 - 30cm以上40cm未満
 - 40cm以上50cm未満
 - 50cm以上100cm未満
 - 100cm以上

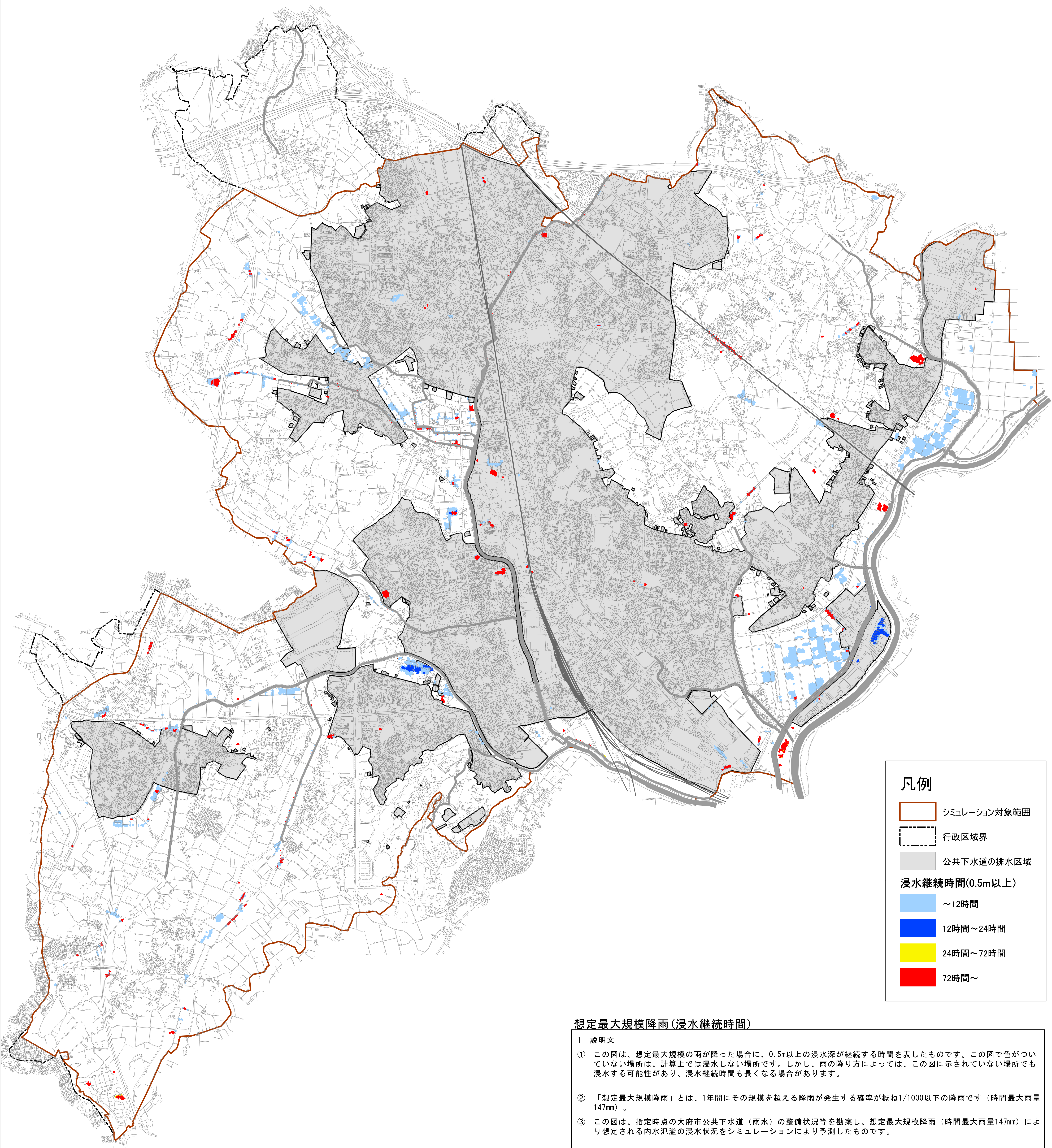
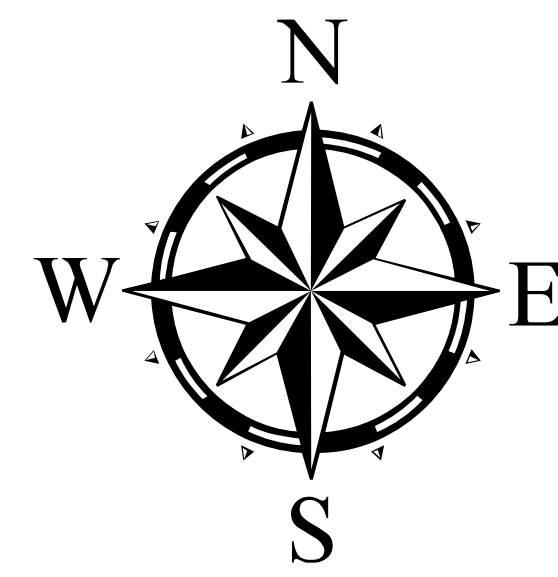
想定最大規模降雨(浸水深)

- 1 説明文
- ① この図は、想定最大規模の雨が降った場合に、浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合があります。
- ② 「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね1/1000以下の降雨です（時間最大雨量147mm）。
- ③ この図は、指定時点の大府市公共下水道（雨水）の整備状況等を勘案し、想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）により想定される内水氾濫の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ④ この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の排水区域のうち、浸水が想定される区域（着色部）を示しています。
- ⑤ シミュレーションの実施に当たっては、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- ⑥ シミュレーションの対象範囲は、茶色枠内の特定都市河川流域（境川流域）の範囲です。
- ⑦ この図では、予測される浸水深が0.05m以上を浸水としています。
- 2 基本事項等
- ① 作成主体 : 大府市
- ② 指定年月 : 令和7年3月
- ③ 指定の根拠法令 : 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- ④ 指定の前提となる降雨 : 想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）
- ⑤ 浸水想定手法 : 詳細モデル（降雨損失モデル+管路水理モデル+地表面流出モデル+氾濫解析モデル）による浸水シミュレーション

1:10,000



大府市雨水出水浸水想定区域図 (浸水継続時間)



凡例

- シミュレーション対象範囲
- 行政区境界
- 公共下水道の排水区域
- 浸水継続時間(0.5m以上)
 - ～12時間
 - 12時間～24時間
 - 24時間～72時間
 - 72時間～

想定最大規模降雨(浸水継続時間)

- 1 説明文
- ① この図は、想定最大規模の雨が降った場合に、0.5m以上の浸水深が継続する時間を表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によっては、この図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水継続時間も長くなる場合があります。
- ② 「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね1/1000以下の降雨です（時間最大雨量147mm）。
- ③ この図は、指定時点の大府市公共下水道（雨水）の整備状況等を勘案し、想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）により想定される内水氾濫の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。
- ④ この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道の排水区域のうち、0.5m以上の浸水深が継続する区域（着色部）を示しています。
- ⑤ シミュレーションの実施に当たっては、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。
- ⑥ シミュレーションの対象範囲は、茶色枠内の特定都市河川流域（境川流域）の範囲です。
- ⑦ この図では、予測される浸水深が0.5m以上を浸水としています。
- 2 基本事項等
- ① 作成主体 : 大府市
- ② 指定年月 : 令和7年3月
- ③ 指定の根拠法令 : 水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- ④ 指定の前提となる降雨 : 想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm）
- ⑤ 浸水想定手法 : 詳細モデル（降雨損失モデル+管路水理モデル+地表面流出モデル+氾濫解析モデル）による浸水シミュレーション

1:10,000

